

2月のアルミレポート及び3月の見通し (4)



橋本アルミ (株) 橋本健一郎

【見通し】

- ・自動車は生産が+3.8%。1月の国内販売台数が前年比+13.4%生産が4カ月連続プラス、販売も5カ月連続プラス。生産は1ヶタ増加だが販売が2ヶタ増加しており今後の動向に注目
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で7ヶ月連続の増加となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家以外が増となった。今後も期待。
- ・アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績、生産出荷ともに4カ月ぶり0~マイナス。
- ・輸出：後半の大幅円安要因を受けて全品種増加。
- ・輸入：長期契約分が入港し地金、2次合金は増加したがスクラップは期末要因から減少。

【スクラップ需給予想】

先月に続き流通在庫は、自動車販売、住宅着工が比較的好調だが期末要因からメーカーは買い控え、発生工場は換金売りがあり需給は緩むのでは？

需要面に関しては、住宅、自動車など生産販売は堅調だが3月決算のためメーカーは買わず？ 買えず？ 需給は緩むのではないかと？

【価格・為替予想】

今月もトランプ米大統領の発言・政策と旧正月明けの中国の動向に左右される。

トランプ米大統領に関しては、移民問題が一旦治まった事。先の議会演説で驚くべき税再改革、1兆ドルのインフラ投資に言及しており経済にとってはプラス。ただし国境税に関するコメント次第では、急落の可能性も。

中国に関しては、新たな不動産規制を行うなど、当局の姿勢はどちらかというところと景気拡大というよりはバブルの抑え込みに軸を置いておりこちらは景気には冷や水。

それらを踏まえた3月の銅価格は、トランプ米大統領の税制改革、1兆円のインフラ投資が進展し中国が景気対策を行った場合、1月一段高の2000ドルを予測。いずれかの場合は1900ドル。下値はいずれの条件も達成できなかった場合1月後半安値の1800ドル。

為替は米トランプ大統領の上記政策の進展と為替への言及次第。

それらを踏まえ予測は、上記政策が進展した場合ドル高円安が進むが為替への言及があれば大幅円高に振れる場合も場合あり高値は2月後半高値一段高の112円台(TTM)を予測。いずれも行われなかった場合現状の117円台を予測。

スクラップ購買価格に関しては0~+10円程度と予測している。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
電話 0774-43-6700(代表)

【→2Pより続き】

◇大臣官房2025年国際博覧会推進事務局付に併任(商務情報政策局サービス政策課長) 佐々木啓介◇大臣官房2025年国際博覧会推進事務局付に併任(商務情報政策局サービス政策課サービス政策専門官) 大西啓仁◇大臣官房2025年国際博覧会推進事務局付に併任(商務情報政策局・サービス政策課) 俣野敏道◇大臣官房2025年国際博覧会推進事務局付に併任(商務情報政策局サービス産業室長) 藤井法夫◇大臣官房2025年国際博覧会推進事務局付に併任(商務情報政策局サービス政策課海外展開支援室長) 河田美緒◇大臣官房2025年国際博覧会推進事務局付に併任(商務情報政策局生活

文化創造産業課長) 西垣淳子◇大臣官房2025年国際博覧会推進事務局付に併任(商務情報政策局・生活文化創造産業課) 福永茂和◇大臣官房2025年国際博覧会推進事務局付に併任(商務情報政策局ヘルスケア産業課長) 江崎禎英◇大臣官房2025年国際博覧会推進事務局付に併任(商務情報政策局・ヘルスケア産業課) 富原早夏◇大臣官房2025年国際博覧会推進事務局付に併任(商務情報政策局生物化学産業課長) 西村秀隆◇大臣官房2025年国際博覧会推進事務局付に併任(商務情報政策局・生物化学産業課) 横手広樹

【明日以降に続く→】